

市営地下鉄の敬老パス読取機の設置場所を変更します ～11月1日から有人改札窓口でタッチのみで利用できます～

令和4年10月1日から、ICカード型敬老パスの本格運用を開始しました。

市営地下鉄では、当初、有人改札窓口から離れた場所に敬老パス専用読取機を設置している駅ありましたが、11月1日から全ての駅で設置場所を有人改札窓口に変更します。

併せて、これまでは読取機へタッチした後、有人改札窓口で駅係員に敬老パスを提示していましたが、有人改札窓口で専用読取機へタッチするだけで利用できるようになります。

市営地下鉄での敬老パス利用方法

乗車駅・降車駅で、有人改札窓口を設置された専用読取機に敬老パスをタッチします。駅係員に敬老パスを提示する必要はありません。



敬老パス（横浜市敬老特別乗車証）とは

市内の路線バス（市営・民営）、市営地下鉄、金沢シーサイドラインで利用できる乗車証です。市内に住む70歳以上の希望者に交付しています（交付には所得等に応じた負担金が必要です）。

お問合せ先

健康福祉局高齢健康福祉課担当課長 喜内 亜澄 Tel 045-671-3842